

瀬戸内クリエイターズ HUB 「島会議」

#超・寄り道系クリエイト #モノ・コト・場づくり #学生中心だからできるやり方 #問い続ける

みんなで作る - 建築

計画、設計、解体、施工
家具作り、施設運営

みんなで作る - 資金

応援してもらうためのプレゼン
SNS 発信や映像制作など

みんなで作る - 企画・運営

みんなで作るための場作りを
始めから一貫通貫で取り組む

Mission- 行ったり来たり「つくる」を実験する

決まっているのは古民家を再生するという目的だけ
コト・モノそして組織そのものもプロトタイプングにより模索する



社会とどうつながるか

人とつながる 1 ものづくり 2 情報の発信 3 社会へ還元 4 暮らしの見本として

メンバーや参加者の多様性が生み出す化学反応によって自分たちの想像を超えたものに昇華する。(偶然の産物)

「自分作ってみる」を根付かせたい
作ることの楽しさ共有
創作活動の拠点を形成することで、つくり手の活動を支援する

活動の中で生まれた成果物が島会議の枠を超え、社会に需要がありそうと考察したもの発信する
※右下 図説アリ

「暮らしを自分たちの手に取り戻す」
この活動自体が今後「自ら暮らしをつくる生き方」のロールモデルになる

2020.?



久比と出会う
卒業設計で島の調査をしたことがきっかけで地域に入り込んだ。その地域での繋がりの中でこの物件に出会い購入に至った。

2022.6



仲間を探していた
物件購入をきっかけに、一緒に活動できる仲間を探していた。興味を持った人たちが島を訪れる。そんな中、島会議に繋がるきっかけの出会いがあった。

2022.7

島会議結成
コアメンバーを中心に活動がスタート。オンライン会議を中心に、計画を開始。

フライヤー作成
参加者を募り、活動に興味を持ってもらうきっかけになればと、印象に残りやすいデザインに。

2022.8
第1回島会議



-活動拠点- 久比へのアクセスマップ



-久比ってこんな所-

- イベントレクチャー**
ジャンル問わずプロから学ぶ
寄り道する中で意外な出会いがあるかも
- ヒアリング**
今ここで生きている人たちの生活を知る
- 作戦会議**
フィールドワーク後
オンラインでこれから進めたい事を話す
- コアメンバー会議**
活動を進めるための下準備を行う
- WS**
実際に手を動かしながらプロトタイプの制作を行う



島の文化を知る

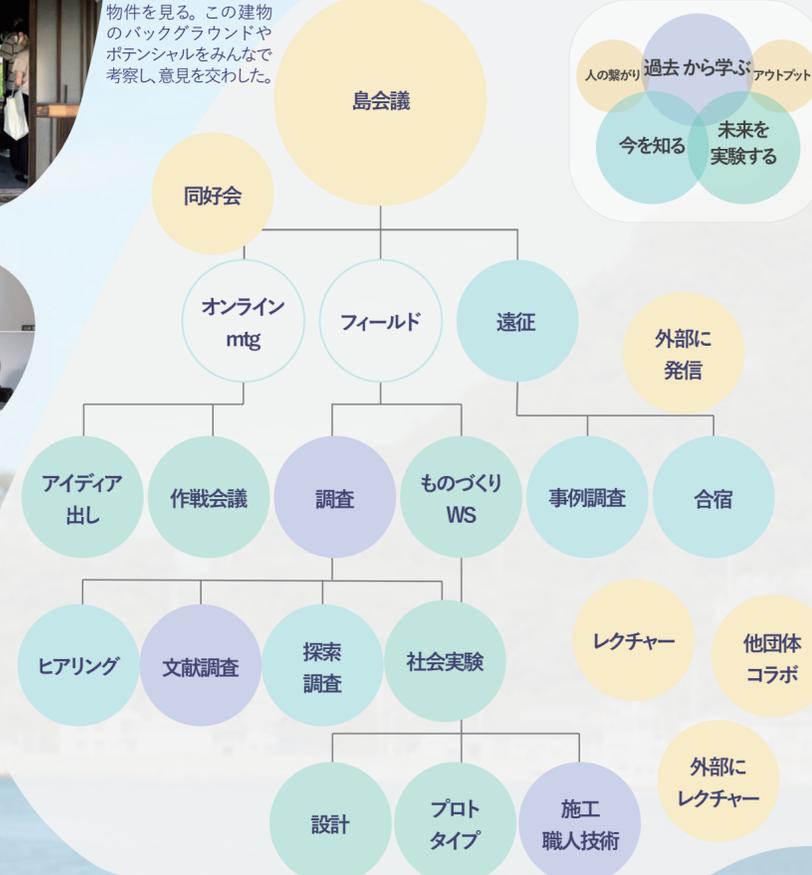
見学中に通りがかったご近所の方が夏みかんをくださった。みんなで両手にみかんを手に記念撮影。差し入れやあいさつにもってこいの夏みかんはこの集落の共通通貨である。



建物を観る

実験のベースとなる対象物件を見る。この建物のバックグラウンドやポテンシャルをみんなで考察し、意見を交わした。

-プログラム-



コアメンバー会議

何でも企画して皆で共有したいというコアメンバーの思いは、定期的に行うコアメンバー会議でカタチになっていった。今ではいつでも企画を出せるくらい、やりたい事が溜まっている。



2022.9
第2回島会議 on-line

LINE ミーティングにて開催初めての参加者と一緒に、島会議をこれからどうしていきたいかについて話し合った。



久比である意味

このプロジェクトは「久比」でやるからこそできる試みでありそこに、社会とつながるきっかけを投じることができる。

都市ではなく、島という小さなコミュニティで行う。それは参加する人が地域に入り込み、自分事としてコトを考え、実行することにつながる。よそ者として地域に入り込む。

普通の民家と日常には、気付かない輝きが埋もれているかもしれない。私たちはよそ者であるからこそ、そこに価値を見出し、小さな輝きを生み出すことができるのではないだろうか。

活動の支えとなる「まめな」という団体の存在。社会人、地域の方、学生が団結し、同じ方向を向いて取り組むことは活動の幅を広げ、学生の力だけではできないより柔軟な取り組みを今後も進めていくことができる。

一般社団法人まめな

「暮らしを、自分たちの手に取り戻す。」をテーマに相互扶助コミュニティの創出や学育プロジェクトエールワークの実証実験、持続可能な農業の実践人口の流動性の促進と言った多岐にわたる分野で活動する。それぞれの開発や事業を進める社会人が集まるアジトのような場所「まめな」の拠点をお借りしながら、またそのコミュニティから学ばせていただきながら私達の活動は前進している。



実測 3D スキャン

施工技術 ワークショップ



住民ヒアリング



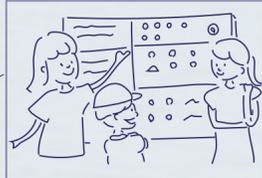
古民家・お金について 運営会議



古民家再生事業の事例研究

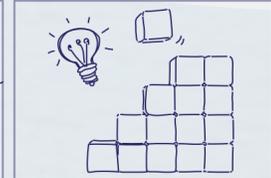
教育施設事例

情報の発信 社会へ還元



最初の目的
古民家再生するために考えたり作ったりすること

- 作戦会議
- 調査
- 制作



結果
情報や知識、成果物が蓄積される

- 古民家の活用事例
- 暮らしの工夫
- プロトタイプ



副産物
そのうち社会に貢献しそう! 需要あるぞ!と考察したモノを社会に発信する

- 泊まれる古民家(サイト)
- プロダクト

代表者: 矢吹はるひ
kubipj0807staff@gmail.com
Twitter: @kubi_project

